



韓国ジャパンリポーター訪日団（第2～4団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日韓関係の改善を基盤とした訪日プログラムの一環として、在韓日本大使館、在釜山総領事館、在済州総領事館で韓国全土から選抜された大学生以上の若手インフルエンサー等を招へいし、各種視察、同世代交流、テーマに沿った講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めると共に、韓国でまだあまり知られていない日本の新たな魅力を発信することで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】韓国の若手インフルエンサー（団長4名、引率4名を含む）合計121名

【訪問地】愛知県、岐阜県、石川県、福井県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

1月8日（水曜日）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

1月14日（火曜日）中部国際空港より入国、オリエンテーション

1月15日（水曜日）【講義】「新しい日韓関係について」、【視察】高山伝統的建造物群保存地区

【視察】世界遺産「白川郷」、石川県へ移動

1月16日（木曜日）【表敬】石川県庁、【講義】石川県の概要と能登半島震災の被災状況と復興について

（第2・3団）【被災地視察】のと鉄道語り部列車、七尾市内（能登食祭市場等）

（第4・5団）【交流・視察】地元の方々と共に金沢市内視察

（兼六園・金沢城址公園・ひがし茶屋街）

1月17日（金曜日）（第2・3団）【交流・視察】地元の方々と共に金沢市内視察

（兼六園・金沢城址公園・ひがし茶屋街）

（第4・5団）【被災地視察】のと鉄道語り部列車、七尾市内（能登食祭市場等）

1月18日（土曜日）【視察】加賀伝統工芸村「ゆのくにの森」、【体験】輪島塗り体験、

福井県へ移動、【講義】ホームステイ地域の概要、【交流】ホームステイ対面式

1月19日（日曜日）【交流】終日ホームステイ

1月20日（月曜日）ホームステイより再集合、【表敬】福井県庁、【講義】福井県の魅力と韓国との交流

について、【視察】福井県内視察（丸岡城、永平寺（僧侶の法話と共に））

1月21日（火曜日）【視察】福井県内視察（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館および復原町並、福井敦賀

日本海さかな街）、愛知県へ移動

1月22日（水曜日）成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）、中部国際空港から出国

2. 記録写真

	
2025 年 1 月 15 日【講義】「最近の日韓関係」	2025 年 1 月 16 日【表敬・講義】石川県庁 石川県の概要と能登半島地震の被災状況と復興
	
2025 年 1 月 16, 17 日【被災地視察】のと鉄道語り部列車	2025 年 1 月 16, 17 日【被災地視察】七尾市内
	
2025 年 1 月 19 日【交流】ホームステイで着物体験	2025 年 1 月 20 日【表敬・講義】福井県庁 福井県の魅力と韓国との交流について
	
2025 年 1 月 21 日【視察】福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館および復原町並	2025 年 1 月 22 日 成果報告会

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

のと鉄道に乗り穴水駅から七尾駅まで移動しながら、能登半島地震を経験した乗務員の方の解説で被災状況を視察しましたが、乗務員の方の生々しい体験談と半壊した住宅や家財道具、建物の解体工事の現場を実際に目で見てみることで地震の深刻さや住民の方々の痛みが感じられました。

◆ 韓国 大学生

能登半島地震の被害を受けた現地の市民は自宅がなくなり、子どもたちの笑顔が消えるなどの精神的な困難は計り知れないと感じて胸が痛かったです。しかし、市民の方々が昨日よりもより良い明日へ進んでいく姿は素晴らしいと思いました。希望でいっぱいの様子を見ることができ、韓国ジャパンリポーター訪日団として広報することで能登半島の復興に少しでも寄与しようと誓いました。

◆ 韓国 大学生

今回の訪日団は能登半島地震から1年というテーマでしたが、地震被害の深刻さをあらためて実感しました。特に日本は地震大国といわれるほど地震が多く発生する国のため、実際に被災した住民の経験談やホームステイで出会った方々が今回の地震をどのように考えているのか等を知ることができ、視野が広がりました。また、石川県庁や福井県庁では各地域の観光地の紹介だけでなく、日本と韓国の関係性、各地域で日本と韓国が今後の未来においてどのように協力していけばいいのかについても聞くことができ、自分の考えを振り返る機会になりました。

◆ 韓国 大学生

地震で被災した方々から直接、その時の状況や経験について伺うことができ、より一層その教えが心に響きました。また、ホームステイを通じて、日本の家庭生活の様子を見たり、互いに思いやり合ったりすることで、私の中の日本人に対する認識がとても良くなったことを感じました。

◆ 韓国 大学生

石川県と福井県に関する観光や地域全般についての情報が聞けてよかったです。観光の目的で日本に来ていたら接することができなかったであろう寺院や伝統家屋等を訪問でき、福井県でのホームステイを通じて、海洋ゴミの深刻さを感じることができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 石川県文化観光スポーツ部 関係者

この度は石川県へお越しいただきありがとうございました。のと鉄道や和倉温泉の旅館では、震災後、初めてのインバウンドのお客様だったとのことで、リポーターの皆さまの温かく前向きな発信は、復興に向けて歩み出す能登の観光事業者の方々の大きな励みになったと思います。

金沢をはじめ加賀、能登の観光の魅力が、皆さまの訴求力ある発信をきっかけに、韓国で広く認知されることを期待しています。またのお越しを心からお待ちしています。そして日韓国交正常化60周年の記念の年に来日された参加者の皆さまや今回の訪日に関係された全ての皆さまの力で、両国の友好関係が

更に進展することを願っています。

◆ 福井県産業労働部国際経済課 関係者

この度、多くの韓国の若者をお迎えでき、大変嬉しく思います。本県では「福井県の魅力と韓国との交流」についてお話ししましたが、皆さんからは北陸新幹線の福井開業やインバウンドに向けたターゲットについてなど、鋭い質問をいただきました。ぜひ、皆さんが発見した日本や福井県の魅力を情報発信していただければと思います。皆さんのご活躍、そして再び福井県にお越しいただけることを心より期待しています。

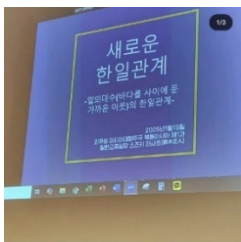
◆ ホームステイ受け入れ家庭

うどん作りなどこちらが準備したもの一つ一つに対し、歓声を上げて喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。子ども二人と遊んでくれたり、手伝いをしたり、生活スタイルに配慮してくれたり、助けてもらうことも多く、韓国のデザートを振舞ってもらい、実際に韓国文化を体験できる機会もありました。日本語か英語での意思疎通でしたが、特に問題なく両国の関係性など興味深い話もできました。子供へのお土産のセンスが良くて、子どもがすぐに懐いたことは驚きです。最終日には日本語で書いた手紙をもらい感動しました。本当に心温まる関わりができ、私たちにとっても貴重な経験になったと感謝しています。

◆ ホームステイ受け入れ家庭

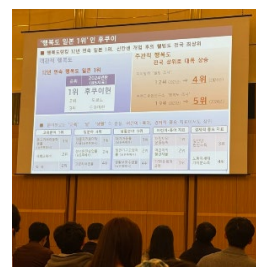
夕日を眺め、温泉へ行き、夕食には手巻き寿司と日韓のキムチの食べ比べをしました。6人とも元気で明るく前向きでこちらがパワーをもらいました。福井の夕飯がおいしくて日本に来てから一番食べたと言ってくれました。おいしく楽しい夕飯になり安心しました。彼女たちは、滞在中のすべての時間を無駄にとは思っていないと感じているようで、日本のことを楽しんで吸収していました。初日から帰る日の朝までに映した動画や画像を編集して2泊3日の思い出の動画を作り披露してくれました。このサブライズに家族はとても感動し、涙のお別れとなりました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 1 月 15 日（Instagram） 日韓首脳会談から構造的な変化まで、共通の利益	2025 年 1 月 17 日（Instagram） のと鉄道に乗って当時のお話や能登に関する説明

を中心に変化する未来の両国関係を見つめることができる有意義な時間だった。隣国である日本との関係について、より深く理解するきっかけとなった。

を聞きましたが、美しい風景とともに見える被災の状況からたくさんのことを考えました。能登半島地震から1年という時間は経ちましたが、能登の時間はまだ完全に戻っていない状態です。特に高齢化と人口減少によって多くの困難を抱えており、それによって建物や上下水道の再建が難しいそうです。石川県庁で聞いた創造的復興プランを通じて能登のアイデンティティを守りながら被災を乗り越えて、再び立ち上げられることを祈っています。



コロナ前には 외국인 インバウンド 방문客이 9만 8천명 정도였고, 한국인이 4퍼센트를 차지했다고 해요. 코로나 후에는 1월부터 9월까지 5만 4천 명 중 한국인이 4% 차지하여 비슷한 비율을 유지하고 있다고 합니다.

일본하얌 도코나 오사카, 후쿠오카, 삿포로만 많이 가시잖아요?
이번 기회로 후쿠이를 고려해보는 건 어떨까요?
일본 소도시의 경, 자연의 아름다움, 맛있는 음식까지 모두 경험할 수 있는 후쿠이로 오세요!

2025 年 1 月 20 日 (Instagram)

福井市で2泊3日間のホームステイ...とても静かで平和なところだった。初めて「さい」という日本の名前ができて、ホームステイ期間中、家族と一緒に日常を体験した。絶対に忘れられない思い出になり、日本語を勉強してまたお土産をたくさん持って訪ねて行きたい。

2025 年 1 月 24 日 (NAVER blog)

コロナ前は福井県へのインバウンド訪問客が9万8千名程度で、韓国人が4%を占めていたそうです。コロナ後は1月から9月まで5万4千人の中で韓国人は4%を占め同様の比率を維持しています。日本といえば東京や大阪、福岡、札幌といった都市にたくさん行きますよね？これをきっかけに福井訪問を考えてみるのはいかがでしょうか？日本の小都市の情、自然の美しさ、おいしい食べ物まで全て経験できる福井へ来てください！

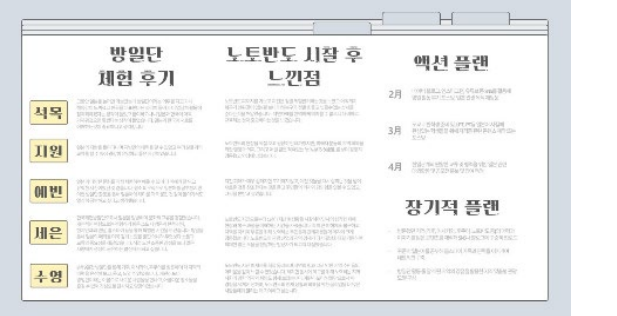
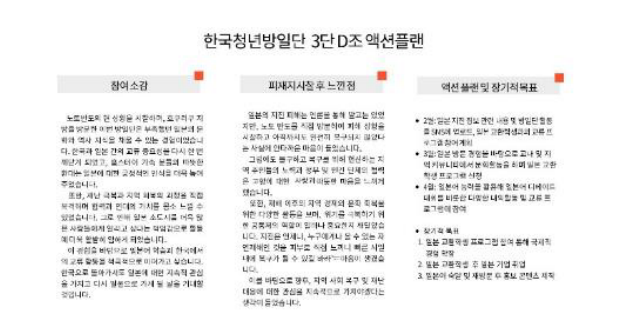


2025 年 1 月 17 日 (北陸中日新聞)

2025 年 1 月 21 日 (日刊県民福井)

「韓国若者 被災地を知る 講義や能登巡るプログラム」と題して、石川県庁での能登半島地震関連の講義の様子や団員インタビューを掲載	「韓国訪日団 福井を体感 121 人魅力発信へ観光地を視察」と題して、福井県庁表敬の様子を掲載
	
2025 年 1 月 21 日（福井新聞） 「韓国学生 丸岡城を体感 県内観光地を SNS 発信」と題して、地元のボランティアガイドの説明を受けながら丸岡城を視察した様子を掲載	2025 年 1 月 26 日、2 月 2 日（NHK WORLD） 「能登半島地震から 1 年 韓国訪日団の現状視察」と題して、被災地視察の様子や実際に能登を訪問しての感想を団員にインタビューする形で紹介
	
2025 年 1 月 25 日（マネートゥデイ） 「“大地震の教訓” 共有列車 商品化・・・日 能登半島の災害対処法」他にも同紙で 2/3 付で特集記事を 4 部にわたって掲載	2025 年 1 月 31 日（済州の声） 「“日韓国交正常化 60 周年” 韓 青年 120 余名 訪日プログラム成功裏に終了」

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

	
【成果の発表】	【成果の発表】

・日本の多様な文化を実際に体験し、学ぶことができてより理解が深まり、有意義な時間だった。いつも義務的に日本語を勉強していたが、今回の訪日団を通じて、日本語に興味を持つようになったため、帰国後も勉強を一生懸命しようと思う。 ・個人旅行では経験できない小都市への訪問や県庁訪問、現地の方との出会い、ホームステイなどを通じて、特別な時間を過ごすことができた。訪日団を通じて日本の魅力をより深く感じるだけでなく、何よりもコミュニケーションと交流の重要性に気が付いた。実際に体験した感情をより多くの人に共有し、発信する人になりたい。 ・能登半島の被災地を訪問し、地震が本当に危険なものであると感じ、まだ復興できていない場所があるということも見て被災地の復興が本当に大変で消えない傷を負わせるということを実感した。自然災害は100%予測することはできないので備えと教育が大事だと思った。 【アクション・プラン】 ・Naver Blog、Instagram、YouTube等のSNSを活用して訪日活動についてアップロード ・東京での交換留学準備、JLPTやJPT等の日本語試験に関心がある学生に向けてのコンテンツ制作、アップロード ・訪日期間中に知った地域の強みを活用し、地域に合わせた観光のモデルを構築 ・日本語の勉強を続け、ホームステイ家族との連絡を取り続けることによりネットワークを維持	・北陸地方の訪問は、不足していた日本の文化や歴史の知識を埋めることができる経験だった。日韓交流の重要性を改めて認識した。 ・ホームステイ家族の温かいおもてなしは、日本に対する肯定的な認識をさらに高めてくれた。 ・日本の小都市をより多くの人々に知らせたいという責任感で、活動にさらに活発に取り組むようになった。この経験をもとに、日本語学習と韓国での交流活動を積極的に続けたい。 ・能登半島を直接訪れ、被害状況を視察し、まだ完全に復旧していないことを知り、残念な気持ちになった。それでも、復興に尽力する地元住民の努力と、行政や民間団体の協力は、故郷への愛と温かい心を感じさせた。地震後の地域経済と文化の回復のためのさまざまな活動を見て、危機を克服するためのコミュニティの役割がどれほど重要であるかを実感した。地震はいつ誰にでも訪れる自然災害であることを肌で感じ、早い復旧を望むようになった。今後、地域社会の復旧や災害への対応に持続的に関心を持たなければならないと考えるようになった。 【アクション・プラン】 ・日本の地震関連情報及び訪日団活動をSNSにアップロード ・日本の交換留学生との交流、プログラム参加 ・校内及び地域のコミュニティで文化活動を実施 ・交換留学への申請 ・日本語ディベート大会などの対外活動に参加
---	---

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金